



平成28年6月7日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
健康福祉政策課	政策企画係	加藤	内線 2515 直通 058-272-8260 FAX 058-278-2620

災害時における障がい者支援に向けた包括的連携協定を締結します

県と認定NPO法人CS障害者放送統一機構は、災害時における聴覚障がい者や視覚障がい者の方への情報伝達支援のため、「災害時における障がい者支援に向けた包括的連携協定」を締結します。

1 協定の相手方

認定NPO法人CS障害者放送統一機構（大阪府大阪市北区東天満 2-7-12）

理事長：高田 英一

2 協定の概要

災害時に、県の要請に基づき、認定NPO法人CS障害者放送統一機構に下記事項の実施にご協力をいただきます。

○ 聴覚障がい者向け字幕・手話放送受信機（※1）の優先設置

- ・字幕と手話付きの緊急災害放送を受信する機器を福祉避難所等に優先的に設置いただく。

○ 視覚障がい者向け地上デジタル放送対応ラジオ（※2）の優先設置

- ・「操作を音声で読み上げる機能」や「電源を切っていても緊急地震速報を受信すれば自動的に電源が入る機能」のある「テレビが聞けるラジオ」を福祉避難所等に優先的に設置いただく。

○ 障がい者向け情報提供に関する研修

- ・災害時の情報提供について、県内の市町村や福祉関連施設等への研修を開催する。

【認定NPO法人CS障害者放送統一機構概要】

名称 : 認定NPO法人CS障害者放送統一機構
所在地 : 大阪府大阪市北区東天満 2-7-12
代表者 : 高田 英一
活動内容 : 障がい者に対する放送、文化、福祉、国際協力分野等での幅広い支援活動

(沿革)

- 1998年 財団法人全日本ろうあ連盟と社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会などが中心となり、CS障害者放送統一機構（当時はCS聴覚障害者予備実験放送統一機構）を結成、独自のCS通信により聴覚障がい者のための手話と字幕の番組放送を開始
- 2001年 特定非営利活動法人（NPO法人）として認証
- 2002年 文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受け、同年5月のワールドカップサッカー開幕式特別番組を皮切りに、リアルタイム字幕配信を開始
- 2003年 CS障がい者放送受信機「アイドラゴンⅡ」が聴覚障がい者用情報受信装置として、CSアンテナ、緊急警報装置とセットで厚生労働省より身体障害者日常生活用具に指定
- 2006年 内閣府より「バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞
- 2010年 新著作権法施行に伴って、番組に手話を付けて別の時間に放送する「アナザータイム手話放送」の日本で最初の配信を開始
- 2015年 大阪市より認定NPO法人として認定

※1 聴覚障がい者向け字幕・手話放送受信機の概要

聴覚障がい者向けに放送しているCS放送を受信する専用チューナー（商品名：アイドラゴンⅢ）であり、テレビに接続することで、「目で聴くテレビ」（手話と字幕の番組）を受信できる。

(参考)

「目で聴くテレビ」とは

- ・「目で聴くテレビ」とは、聴覚障がい者向けの放送局で、手話と字幕の番組を放送している。
- ・番組の種類は大別して2種類。
 - 「リアルタイム字幕手話放送」：一般のニュースや情報番組など、字幕がない生番組に対応するリアルタイム字幕と手話通訳を「目で聴くテレビ」が独自にCS通信で放送している。
 - 「オリジナル番組」：聴覚障がい者がスタッフ・出演者として番組制作に参加。全国の聴覚障がい者情報提供施設からも番組の提供を受けている。
- ・災害時には、チューナーがCS通信の緊急信号を受信し、緊急災害放送の開始を光で知らせ、手話・字幕付き（地上波放送に字幕が入っている場合は手話のみ）の緊急災害放送が流れる。

※2 視覚障がい者向け地上デジタル放送対応ラジオの概要

全ての操作ボタンを点字表記してあるほか、「操作を音声で読み上げる機能」や「電源を切っても緊急地震速報を受信すれば自動的に電源が入る機能」がある、視覚障がい者向けの仕様となっているラジオのこと。